



創立150周年

2月号（令和6年1月31日発行）

kurosho-dayori

鉄小だより

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/kurogane/> 横浜市立鉄小学校

“^{くろがね}鉄のまち”の皆様に育まれる^{くろしょう}鉄小の子どもたち

副校長 本間 秀司

暦の上では、節分、そして立春を経て、もうすぐ「春」なのですが、この時期は寒さが厳しく、1年の中でも最も冷え込みます。早く寒さの峠を越え、春が訪れることを心待ちにしています。

さて、1月は、元日零時の鐵神社での初詣をはじめ、いくつかの地域の行事に参加させていただきました。鐵神社の初詣では、元日午前1時過ぎまで参拝に訪れる方々に向け、神社の役員の方が健康を願って、大晦日についてお餅を配布してくださいました。多くの鉄小児童と保護者の方々も参拝に来ていました。

1月13日（土）に上鉄地区と中・下鉄・やよいが丘地区の2ヶ所で『どんど焼き』が行われました。田んぼの真ん中に青竹やわらで高く積み上げられたやぐらが作られていました。「どんど焼き」とは、年末年始に飾っていた門松やしめ縄飾りを持ち寄って燃やします。正月飾り等を燃やすことで、炎と共に歳神様を見送る意味があると言われていています。そして、書き初めで書いたものを燃やし、炎が高く上がると書の腕が上達するとも言われます。“鉄のまち”のどんど焼きでも書き初めで書いた子どもたちの多くの書が見られ、鉄小の子どもたちは、年々、成長と共に書の腕を上げていると地域の方からお褒めをいただいております。また、どんど焼きの火で焼いた鏡餅やお団子などをいただく1年間の無病息災が叶うとされています。参加した方が持ち寄ったお団子を焼いている姿も見られました。児童の交通安全を1年間見守り続けてくれました職員玄関前のダルマは、今年度は、上鉄で焼き上げていただきました。このダルマは、交通安全協会の宮田様より、児童の交通安全と校内安全を願って、毎年ご寄贈いただいております。“鉄のまち”のどんど焼きでは、多くの保護者の皆様と児童にお会いできました。そこでは、3世代に渡る皆様が参加し、子どもたちの成長を見守る姿が見られました。地域の方々のご尽力により、伝統行事が続けられています。何世代にも渡って行事が継承され、次の世代を担う地域の子どもたちを大切に育ててくださっています。

また、21日、22日に鉄文化会館で『地域作品展』が行われました。これは鐵神社の天神祭に合わせ、地域の方々が実施しています。天神祭は、菅原道真の命日にちなみ、25日前後に行われ、同時に筆供養が行われます。使い古した筆や鉛筆などを日頃の感謝を込め、焼き上げ、筆の上達、学力の向上を願います。子どもたちが伝統行事を身近に感じる貴重な日となりました。

このように地域の皆様から大事にされている子どもたちは、本当に幸せだと思います。

今後とも引き続き地域、保護者の皆様と学校が一体となり、児童の心身を育成してゆけるよう、ご支援の程、どうぞよろしくお願い申し上げます。